

第7回三春町公共施設整備方針検討委員会議事録

1. 日 時 平成24年7月27日（金）午後1時30分～午後3時05分
2. 場 所 役場3階会議室
3. 出席委員 大津茂委員長、佐久間保一副委員長、遠藤重一委員、大内勇委員、影山光雄委員、影山良吉委員、武田泰夫委員、内藤忠委員、降矢由美子委員、橋本国春委員、遠藤真弘委員
- 欠席委員 幕田勝壽委員、伊藤満委員、松崎正夫委員

4. 会議の内容

（1）開 会

事務局（財務課長）より、今回から庁内検討委員会に保健福祉課長と産業課長が加わった旨、紹介された。

（2）委員長あいさつ

前回の中学校現地調査を踏まえて、今回から具体的な中学校廃校後の利活用について議論を進めていき最終的な提言をしたいと考えているので、引き続き御協力をよろしくお願いいたします。

（3）議 事

① 報告事項（役場庁舎整備計画の策定方針について）【資料 No. 1】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 1 に基づき説明。

委員長：ただ今の報告について、各委員より質問意見等があればお願いしたい。

委 員：専門家の助言を受けるとあるが、どのような助言を受けるのか具体的にわかれば教えて欲しい。まほらを建設する際の積み上げ方式が良い見本であり、中途半端にならないような計画を策定して欲しい。

事務局：専門家の助言については、基本的構想策定と実施設計の段階になると考えている。当面は、本委員会よりいただいた中間報告に基づき、役場内部で整理をしていく予定である。

委 員：三春の役場づくりは、まちづくりの生命線に関わると考えられるので、しっかりとした計画を策定していただきたい。

委 員：パブリックコメント（意見公募）はどのような方法でやるのか。

事務局：最終的な案の段階でパブリックコメントを実施することになると考えている。町広報では要旨の公表になるかも知れないが、今年度のまちづくり懇談会においても町の説明事項に設定したいと考えている。

② 廃校となる中学校の現状について【資料 No. 2】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 2 に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各委員より質問意見等があればお願いしたい。

各委員：特になし。

③ 利活用の基本的考え方について【資料 No. 3】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 3 に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各委員より質問意見等があればお願いしたい。

委員：三春町の学校建築は全国的にも有名であり、建築する際には、建物の寿命と児童生徒数の推移の見込みなど、建築当時の経緯などがわかれば教えていただきたい。

委員：その当時は、中郷中学校がダムで水没することから、また、沢石中・要田中学校については施設の老朽化により建替えたなど、その当時先までは見越してはいなかったと考えられる。

④ 課題の整理【資料 No. 4】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 4 に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各委員より質問意見等があればお願いしたい。

委員：学校は地域コミュニティの中心であり、例えば中学生に自分たちの学校をどのように活用してほしいか聞いたことがあるか、また、PTAのような若い世代の意見を聞く場も必要ではないか。

委員：新中学校については中学生に聞いているが、現在の学校の活用については、中学生とPTAにはまだ聞いていない。公共施設を今後どうするか、地域の声を吸い上げていく必要がある。

事務局：次回委員会でも、地区意向の把握について議論いただく予定としている。

委員：将来的に沢石小学校が複式学級になる見込みがあるとの説明より、沢石中学校に校舎を移転した場合に、改修工事は必要になるのか。

委員：平成26年度に2年生と3年生が16人以下になり、複式学級になる見込みであるが、中学校校舎を利用する場合、若干の改修工事が必要になるのではないかと。

⑤ 葛尾村への中学校の貸与について【資料 No. 5】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 5 に基づき説明。

葛尾村から平成25年4月より廃校となる中学校のうち1校を借りたい旨の要望書が町長、議長あてに提出された。要望の趣旨としては、学校再開は村民帰還のために重要であるとのことであり、学校を借りれば、現在ある自然観察ステーションと貝山アーチェリー場管理棟にある役場機能も一緒に移したいとの申し出である。

町としては、葛尾村の避難を受け入れていることから、葛尾村の復興を引き続き支援していくことが大事である。葛尾村の児童生徒は現在、主に岩江小・中学校に通学している。葛尾村では、復興計画の中で復興の第一歩は学校の再開としているので、町としてはこの考え方を尊重して、廃校となる学校を貸し出さざるを得ないと考えている。

結論については、教員確保のスケジュール等から9月までには葛尾村に伝えなければならないと考えている。

廃校となる4校の中学校のうち、三春中学校は耐震化工事に伴う三春小学校の仮校舎となる予定であり、また、廃校後の中学校を介護施設として利用したいとの要望もあるが、介護保険の事業計画に位置付けなければならないため、3年ごとに計画を見直すことから、平成27年度からの計画に位置づけるためには、平成26年度にならないと判断できない。

葛尾村の本音としては、現在の仮設住宅が中郷、中妻地区にあるため、桜中を借りたいのではないかと。除染の進み具合にもよるが、貸した以上は1年から2年で済む話ではないとも考えられる。

桜中学校は、もともと三春の里と一緒に利活用すべきではないかと、観光拠点施設にすべきではないかと、また、学校にすべきではないかとの提言がもともとある施設であり、三春町としては、このような考え方を優先すべきではないかとも考えている。

これらの考え方にに基づき、各委員のご意見等をお願いしたい。

委員長：ただ今説明があったように、廃校となる4校のうち、1校を借りたいと葛尾村より正式に申し入れがあったようだが、教員の確保等のスケジュールからすると、9月末に回答しなければならないとのことから、なかなか悩ましいと思う。除染の進み具合にもよるが、貸した以上は、1年から2年で済む話ではなく、おそらく10年単位の話であると思われるので、各委員より率直なご意見等をいただきたい。

委員：葛尾村としては、どの学校を借りたいと特定しているのか。

事務局：おそらく、仮設住宅に近いなどの条件等から桜中学校を望んでいるのではないかと説明しただけで、葛尾村よりどの学校と正式にあった話しではない。

委員：桜中学校は建物もしっかりしており全国的にも有名な建築物であり、町として他の利活用方法も考えられるのではないかと。

話しは変わるが、廃校後の三春中学校の利用について、田村高校長より三春中学校のテニスコート、校庭と体育館を借りたい意向があるとの話しを聞いている。テニスコートは硬式テニスコート、校庭はソフトボール、体育館はバドミントンの練習場として借りたいとの具体的な話しがある。社会体育との兼ね合いもあると思うが、検討できるのではないかと。また、桜中については1つの案として、相手が大きいかも知れないが、学校全体を利用して50人程度の雇用が見込める提案もある。なお、その際にも体育館や校庭を地元で社会教育として使うことは考えられる。現地調査で沢石中、要田中、桜中を見学し、桜中学校が立地上の条件として良いとのことであった。理由としては、空港や新幹線の駅が近いことを挙げられた。

委員長：葛尾村への貸与について各委員のご意見等をお願いしたい。

委員：事業者が学校全体を利用するのはなかなか難しいとも考えられるので、学校として利用されるのが一番良いとも考えられる。

委員：沢石中は沢石小に、要田中は介護施設に、桜中は学校として使うのがベターであると思う。

委員：介護施設は学校1校を全て使うという話しであるのか。

事務局：具体的ではなく、介護施設として利用したい要望があるという話しのレベルである。

委員：介護事業としては桜中学校が適し、要田中学校は坂や階段が多いため、介護事業の施設として合わないのではないかと。

- 委員：廃校後の中学校については、3校あるので1校貸すという考え方に賛成したい。
- 委員：避難を受け入れた以上、葛尾村に教育施設として貸してあげたいと思う。3校のうちどの学校が一番良いのか、葛尾村に比較的近い要田中学校が良いのか、仮設住宅内もきれいに整備されており、仮設住宅に近い桜中学校のどちらが良いのか、貸与することには賛成である。
- 委員：1年以上三春町にいますので、これから先5年から10年になったとしても、葛尾村に学校を選択してもらうようなおおらかな気持ちで貸すことも良いのではないかと。現在、葛尾村の小中学生は、岩江小・中学校に通学しているが、まちづくりの行事にも参加してもらっている。
- 委員：廃校後の中学校を貸すことには賛成であるが、葛尾村の仮設住宅は中郷地区に多い。小・中学生は岩江小・中学校に通学しているが、そうなる時、地元に来ると思っていた中郷小学校に話しをしなかったとも聞いているが、教育委員会は把握していたのか。
- 委員：一番は給食施設の関係で、当初三春中学校にも通学する予定であったが、弁当持参であったため、ほとんどが最初は桜中に通学し始めた。給食施設があり、さらに集団で通学でき、葛尾村の小・中学生を受け入れる条件となると、中郷小学校にさくら共同調理場があるが施設が小さいため、許容できるのが岩江小・中学校が適していたことが理由であった。バスは何台でも出して通学させたいのという葛尾村の意向を尊重してのことであった。富岡町は曙ブレーキ工場跡地に学校をつくったが、葛尾村は先を見通して三春町の学校が空くのを待っていたようだ。
- 委員：葛尾村はもともと給食施設を持っていたのか。
- 委員：新しい給食施設をつくったばかりであった。
- 委員：地元には学校があると、地域コミュニティの創造があると考えられるが、教育上の複式学級のメリット、デメリットがあれば教えていただきたい。
- 委員：その判断は難しい。地域の皆さんに判断してもらうことが一番であると考え。例えば、複式学級になったから半分ずつ教えて、片方は自習というイメージを持たれている方もいるかも知れないが、先生一人で教える訳ではなく、非常勤講師に入ってもらい、学力が下がるということではない。ただし、多人数と少人数を比較すると、目に見えない部分で人間関係づくり、能力・判断形成にも影響があるとは考えられる。
- 委員：沢石中学校と要田中学校は地下水を使っているとの説明であるが、桜中学校は町の水道が引かれており、学校でプールを使うなどを考えると、水道を利用している方が安心かとも考えられる。
- 委員：沢石中学校については、仮設住宅も同じ水を引いており、また水質検査も行っているので心配ないと考えている。要田中学校については、最近プールに水を入れたことにより、若干水が不足した。地盤が動いたことも影響しているのではないかと考えられるが、応急的に工事を実施したところである。いずれ要田中を貸すことになった場合には、水が足りないようでは貸し出せないの、調査のうえ貸し出せる状況をつくっていかねばならないと考えている。
- 委員長：委員会としての方向づけをするための、各委員の意見聴取をしたい。私の意見としては、平成23年4月に三春小学校の入学式の際に富岡町の教育長とお会いし、三春は子どもたちにとって友達がいる第二の故郷としてもらい、大きくなった時に一体感を持つ

てもらいたいと話していた。川内村が帰村宣言をしたように、一体感を求めたい、帰町、帰村するムードを高めたいのではないかと思いますので、今回の葛尾村についても貸し出さざるを得ないと考えている。

委員：貸し出すためには、先ほどの説明でもあったように9月ぐらいには葛尾村に回答するとのスケジュールから、地元、議会への説明等を考えると、今回、三春中を除いた3校のうち、桜中は他団体からの要望等があることから保留し、沢石中か要田中のどちらかを貸すべきであるとの町の考えを示したいと考えているが、各委員の意見等をいただきたい。

委員長：〇〇委員からただ今提言のあったことについて、ご意見等をお願いしたい。

委員：廃校になる3校をどう活用すべきか、そのうち提言のあった要田中、沢石中のいずれかを貸すのも大事であると思う。

委員：沢石小学校が複式学級になる見込みを踏まえて、葛尾村が沢石中学校を使うことに問題はないか。沢石小学校を使い続けるうえで、校舎は耐震上問題ないのか。

委員：沢石小学校は耐震上問題もなく、エアコン設備も導入されたため校舎を使い続けることは可能であると考えている。

委員：地元の関係者がいるのでなかなか言えなかったが、桜中学校は町の観光拠点として活用するのが望ましく、〇〇委員が言われた線で検討すべきであると思う。

委員長：先月の現地調査を踏まえて、沢石中学校は目の前に沢石小学校があるため感情的な部分を考慮し、また沢石小学校を沢石中学校にとの意見もあるため、独立してある要田中学校が一番良いのではないかと考えられる。

委員：沢石小学校の和式トイレの問題があり、和式トイレを使えない子どもがいるため、沢石会館に公衆トイレを設置すべきではないかなど、まちづくり協会でも話題となっている。

委員：要田中学校となった場合、要田の仮設住宅には富岡町民がおり、現在は曙ブレーキ工場跡地で学校を開設しているが、例えば富岡町が要田中学校を借りたいと言ってきた場合どうするのか。

委員：現在富岡町が要田中学校の体育館を借りて使っている状況もあるので、当然、要田中学校に葛尾村が入った場合でも、今まで同様に三春町として利用調整をお願いし、富岡町にも使ってもらいたいと考えている。

委員：時間割の組み立て方にもよると考えられる。葛尾村としては、小学校が33人から35人程度、中学校が11人から12人程度で4～5クラスになるのではないかと見込まれるため、富岡町に貸している部分もこれまでどおり対応できると考えている。

ある母親の意見として、もう子どもを転校させたくないという声も聞かれる。

委員長：委員会としての方向付けを出したいが、要田中学校を葛尾村に貸し出すことで異議はないか。

委員：今後のスケジュール等を考慮し、〇〇委員が提案したうち「要田中学校」の貸与について賛成したい。

全委員：異議なし。

※本委員会における意見として、葛尾村には要田中学校を貸し出すことで異議なく了承された。

(4) 閉 会

次回第8回検討委員会は、8月下旬頃開催を予定とし、議題は「地区意向の把握、フリートーキング」とすることで、閉会した。(15:05)